



ショートコメント

★★★★

Data 2025-29

親鸞 人生の目的

2025 年／日本映画

配給：「親鸞 人生の目的」実行委員会／104 分

2025（令和 7）年 3 月 15 日鑑賞

テアトル梅田

監督：青山弘

脚本：塩味鷹虎、青山弘

原作：高森顕徹「歎異抄をひらく」「人生の目的」

声の出演：杉良太郎／櫻井孝

宏／中博史／小山剛

志／平川大輔／松田

健一郎／仙台エリ／

小市真琴

みどころ

私の実家は日蓮宗だったから、お墓参りの時に唱えていた念仏は「南無妙法蓮華経」だった。それに対して、親鸞の浄土真宗の念仏は「南無阿弥陀仏」。この両者は、何が、どう違うの？小学生の頃はそれがサッパリわからなかったが、中学生になってキリスト教を知り、『キング・オブ・キングス』（61 年）等の学校推薦の映画を次々に鑑賞すると・・・？

比叡山の僧侶の“世俗ぶり”に織田信長が怒り狂った歴史は有名だが、9 歳から 19 歳までその「叡山」で修行した親鸞は、誰から、何をどう学んだの？さらに玉日姫への煩惱をどうやって克服したの？

「歎異抄」では「善人なおもって往生を遂ぐ いわんや悪人をや」が有名だが、その意味は？イエス・キリストは「汝の敵を愛せよ」、「右の頬を打たれたら左の頬を差し出せ」と説いたが、この両者の共通点と違う点は？アニメ映画とバカにしてはダメ！本作を契機に親鸞の教えをしっかり学びたい。

◆愛媛県松山市で生まれ育った私の実家の宗派は日蓮宗。また、祖父母の家は近くにあつたし、先祖伝来のお墓は近いところと遠いところの 2 カ所にあつたから、小学生の頃はよく祖父母の家にも遊びに行っていたし、お彼岸やお盆の時期にはお墓参りにも定期的に行っていた。お墓参りの時やお寺での行事の際に唱える念仏は、日蓮宗では「南無妙法蓮華経」だが、親鸞の浄土真宗では「南無阿弥陀仏」だ。

子供の頃はその違いがよくわからなかったが、たくさんの偉人伝を読み、蒙古襲来の物語や日蓮上人への弾圧の物語を知ると、日蓮上人の人物像は子供心にある程度形成されていた。それに対して親鸞は？

故郷の松山市から離れた大学時代は宗教に全く縁のない生活を送り、弁護士になってもさらにそうになっていた私は、1995 年 1 月 17 日の阪神淡路大震災の後、芦屋地区のまちづくり協議会の顧問弁護士として、復興土地区画整理事業に関与するようになってから、

依頼者の一人が浄土真宗のお寺の僧侶だったため、親鸞の勉強をするようになった。そのため、本来アニメにはあまり観に行かない私も、本作を鑑賞することに。

◆私が入学した愛光学園という、中高一貫、男ばかりの進学校は、聖トマス教会を母体としたカトリック系の学校だった。そのため、キリスト教への入信を強要することはなかったが、神父による宗教の授業があったし、『ベン・ハー』(59年)、『スパルタカス』(60年)、『キング・オブ・キングス』(61年)、『バラバ』(61年)等々、キリスト教関連の名作映画(?)が学校推薦になっていたから、私はそのすべてを鑑賞している。そのため、キリスト教関係の知識はそれなりに蓄積されていたが、浄土真宗の親鸞の知識は、ほとんどゼロだった。したがって、

- ① 8歳で両親を失った親鸞が、「やがて死ぬのに、なぜ生きるのか」という疑問の答えを仏教に求め、わずか9歳で比叡山に入ったこと
- ② 10年の仏道修行を経て、19歳の親鸞が、聖徳太子廟からの帰り道に、関白・九条兼実の娘である玉日姫に出会い、比叡山では女性のことを思ってもならないという教えがあるにも関わらず、玉日姫のことを忘れられなくなった親鸞は、絶望して比叡山を下りたこと
- ③ 京都の町で、法然上人に出会った親鸞は、「煩惱あるがままで救われる」という彼の教えによって苦悩の解決の道を知ったこと
- ④ 玉日姫との再会を果たした親鸞は、ますます玉日姫に惹かれていったこと

等を知ってビックリ!なるほど、なるほど。

◆もっとも、本作は高森頭徹氏によるベストセラー書籍「歎異抄をひらく」と「人生の目的」を原作として、2時間弱にまとめたアニメ映画だ(に過ぎない)から、どこまで歴史上の事実に沿って作られているのかは疑問。そう思って Wikipedia を調べてみると、そもそも、「親鸞は、自伝的な記述をした著書が少ない、もしくは現存しないため、その生涯については不明確な事柄が多い。」そうだ。つまり、その点はイエス・キリストとは大違いだ。とりわけ驚いたのは、本作前半のメインストーリーとして描かれている、親鸞と玉日姫との恋物語についても、Wikipedia によると「妻帯の時期などについては、確証となる書籍・消息などが無く、諸説存在する推論である。」と書かれていたからビックリ。

ちなみに Wikipedia によると、親鸞の妻帯については、① 法然のもとで学ぶ間に、九条兼実の娘である「玉日」と京都で結婚したという説、② 法然のもとで学ぶ間に、越後介も務め越後に所領を持っていた在京の豪族三善為教の娘である「恵信尼」と京都で結婚したという説、③ 京都在所時に玉日と結婚した後に越後に配流され、なんらかの理由で越後で恵信尼と再婚したとする説、④ 法然のもとで学ぶ間に、善鸞の実母と結婚し、流罪を契機に離別。配流先の越後で越後の在庁官人の娘である恵信尼と再婚したとする説、

があるそうだ。

また、法然と親鸞との師弟関係についても、「現代における受容・評価」で「高校で使われる倫理の教科書ではかつて、親鸞が法然の教えを「徹底」または「発展」させたという記述が多かったが、優劣をつけない表現へ修正されつつある。」そうだから、本作を鑑賞し、人生の目的を考えるについては、くれぐれも、1つの視点に固執しないことが大切だ。

◆親鸞の教えとして最も有名な言葉は、「善人なおもって往生を遂ぐ いわんや悪人をや」だ。これは『歎異抄』の第3章の中に書かれているものだが、「善人でさえ幸せになれるのだから、悪人はなおさら幸せになれる。」という意味だから、誰でも最初に聞いた時はビックリするはずだ。さて、これをどう解釈すればいいの？

なお、『歎異抄』の中では、上記の文章に続いて、「しかるを世の人、つねに曰く『悪人なお往生す。いかゞいわんや善人をや』」と続くそうだが、「他力本願」の教えとも絡めて、本作の鑑賞を契機に、上記の親鸞の有名な言葉の真の意味をしっかりと突き詰めたい。

◆なお、私が中学生の時に観た『バラバ』(61年)や『キング・オブ・キングス』(61年)の中には、イエス・キリストが磔の刑に処せられるのと引き換えに、盗賊(殺人犯?)のバラバが釈放される物語が登場していた。バラバの存在は、マタイの福音書、マルコの福音書、ルカの福音書、ヨハネの福音書で触れられているものの、それぞれ罪状が違っているようだ。また、それらの福音書によるバラバの物語(人生)と、映画『バラバ』にみるバラバの物語(人生)も違っている。

しかし、中学生の時に、ユダの裏切りによるイエスの告発から、十字架での磔の刑、そして死後に再び復活したイエスの物語と共に、強盗犯(殺人犯)、バラバの物語(人生)についても、興味深く鑑賞したことを私は今でもよく覚えている。さらに、イエス・キリストの教えの基本は、「汝の敵を愛せよ」、「右の頬を打たれたら左の頬を差し出せ」だから、親鸞の「善人なおもって往生を遂ぐ いわんや悪人をや」と同じようなもの・・・?とは言えないだろうが、改めてしっかり親鸞の教えをイエス・キリストの教えと比較検討し勉強する必要性を痛感！

2025(令和7)年3月18日記